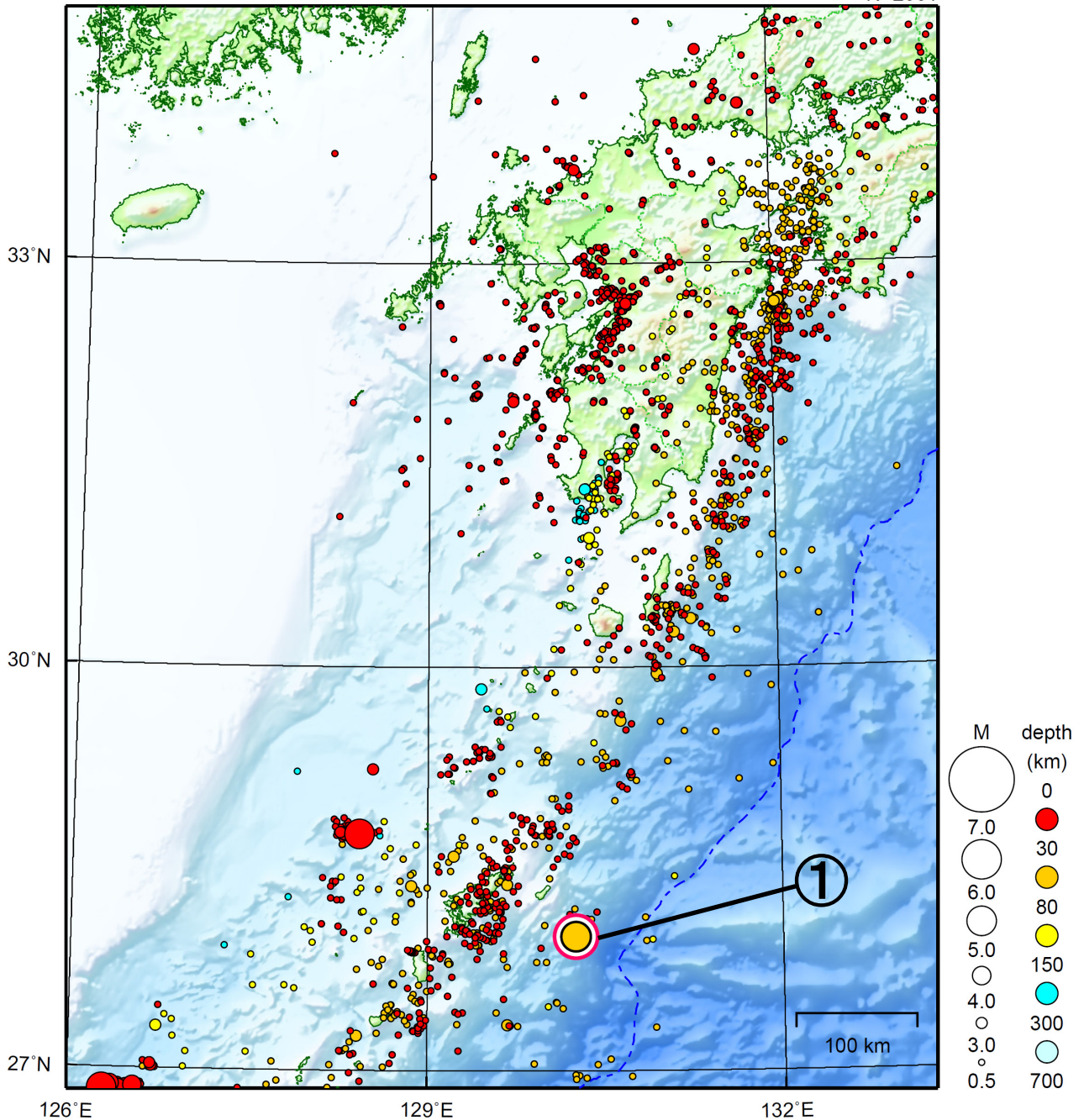


九州地方

2022/03/01 00:00 ~ 2022/03/31 24:00

N=2661



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

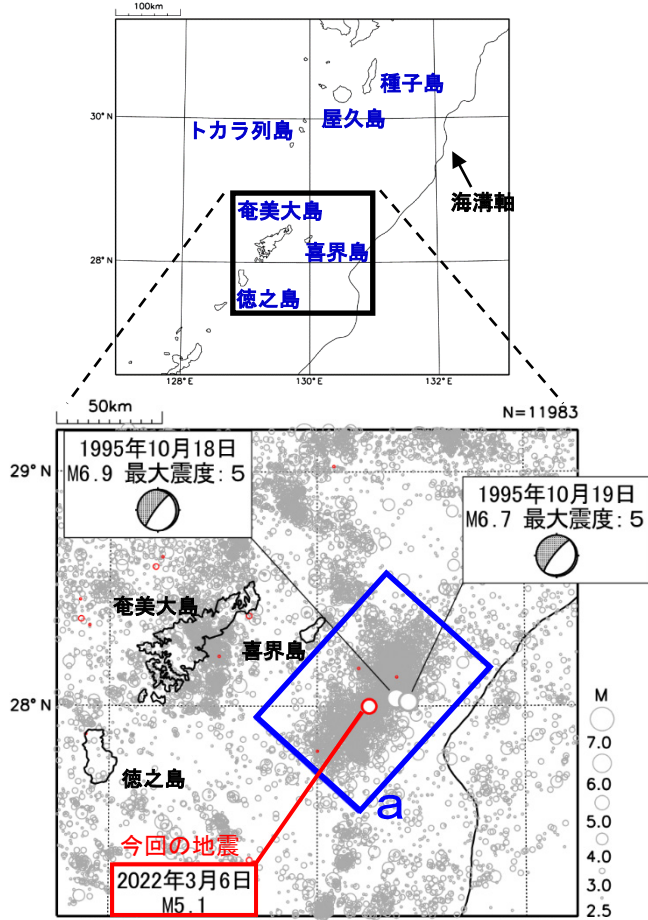
- ① 3月6日に奄美大島近海でM5.1の地震（最大震度3）が発生した。

〔上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

気象庁・文部科学省

3月6日 奄美大島近海の地震

震央分布図
(1994年10月1日～2022年3月31日、
深さ0～50km、 $M \geq 2.5$)
2022年3月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構はCMT解

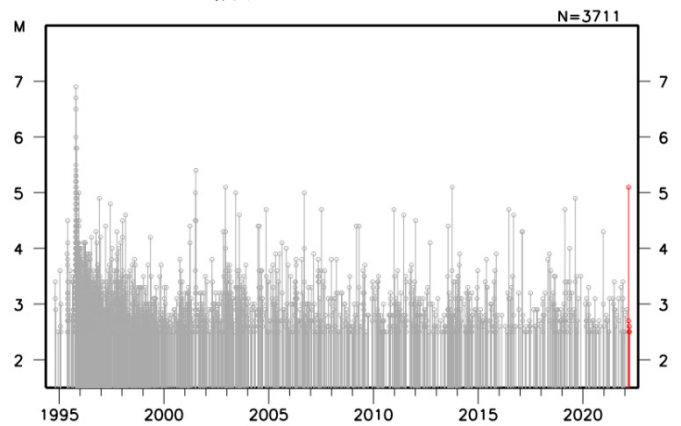


2022年3月6日10時13分に奄美大島近海でM5.1の地震（最大震度3）が発生した。

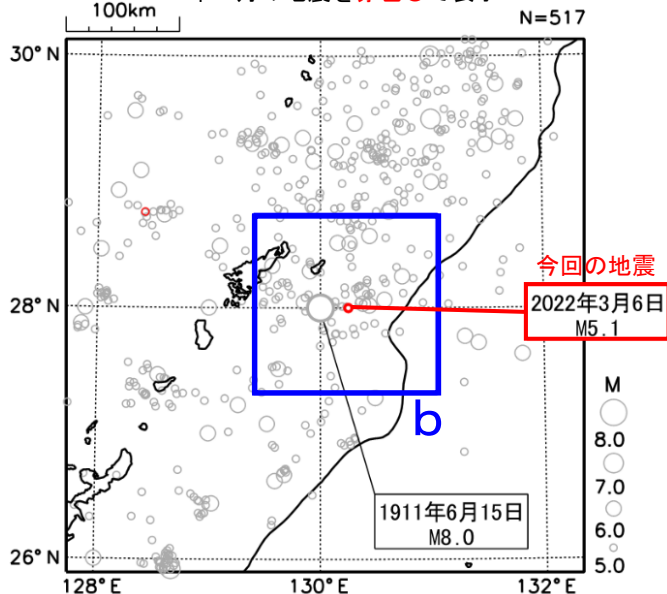
1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.0を超える地震が時々発生している。1995年10月18日に発生したM6.9の地震（最大震度5）および翌19日に発生したM6.7の地震（最大震度5）により、喜界島で負傷者1人、住家一部破損、崖崩れ等の被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。これらの地震により、鹿児島県の中之島で43cmの津波を観測するなど、関東から沖縄にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が時々発生している。1911年6月15日にはM8.0の地震が発生し、死者7名、負傷者26名、住家全壊418棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

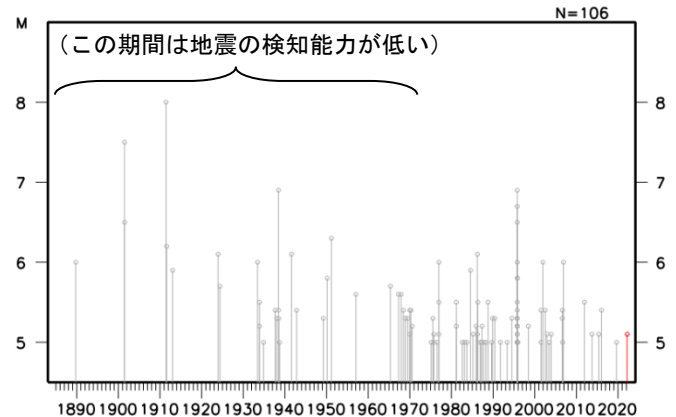
領域a内のM-T図



震央分布図
(1885年1月1日～2022年3月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)
2022年3月の地震を赤色○で表示



領域b内のM-T図



（震源要素は、1885年～1918年は茅野・宇津（2001）、
宇津（1982, 1985）による※）

※宇津徳治（1982）：日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年、震研彙報、56、401-463。

宇津徳治（1985）：日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年（訂正と追加）、震研彙報、60、639-642。

茅野一郎・宇津徳治（2001）：日本の主な地震の表、「地震の事典」第2版、朝倉書店、657pp。

気象庁作成